



事業化に「待った」 用地測量説明会で反対意見続出



東京都、北区、JRが開催した用地測量等説明会

東京都と北区、JRは、2日に王子第五小学校で、3日に荒川小学校で、埼京線十条駅付近連続立体交差事業及び鉄道付属街路事業の用地測量等説明会を開きました。

連続立体交差事業は、過去に北区と旧国鉄の間に「地下化」による施工の約束がなされていたにもかかわらず、東京都が「高架方式が適切」

などとして昨年秋に都市計画決定を強行しました。また、鉄道高架工事の仮線となる付属街路は、北区が施工し費用も負担します。120棟もの鉄道沿線の住民に、立ち退き要請が発生します。

説明会では、これらの計画に対し、地元住民から反対意見が続出（囲み参照）。住民の合意を得ないまま都市計画決定したことへの批判や、立ち退きに対する代替地の案も示さず、計画を事業化しようとしていることは許されないと意見が相

次ぎました。

鉄道立交・付属街路とあわせて都市計画

決定がおこなわれた補助85号線の拡幅事業について、23日

（金）午後7時と24日（土）午後2時に、事業

概要及び用地測量説明会がおこなわれる予定です（場所はとも

に王子第五小学校）。
十条まちづくりは正念場を迎えています。

説明会で配られた埼京線連続立体交差計画（右）と、鉄道付属街路計画（左）のパンフレット



住民合意がないことは明らか

説明会で出された住民の声

- 過去に区議会で「地下化」を決議していたはず。住民の反対署名にも回答なし。この間の経過は極めて不本意だ。
- 住民にきちんと説明しないまま、拙速に進めないでほしい。住環境に多大な影響を与える高架化はやめるべき。
- 45歳で家を建て、やっとローンを払ったら立ち退きとは。代替地を示すというが、本当に約束できるのか。
- 十条は何もせず、今のままでいい。

新しい政治切り開こう



左から、のの山けん区議、池内さおり前衆院議員、そねはじめ都議

日本共産党 新春のつどい 志茂・赤羽地域

12日、赤羽会館大ホールで、日本共産党志茂・赤羽地域「新春のつどい」(のの山けん事務所主催)が開かれ、地域の後援会員ら90人が参加しました。

第1部では、平昌(ピョンチャン)オリンピックの開会式に出席し、前日に韓国から帰国したばかりの、そねはじめ都議と、昨年の総選挙で日本共産党

の小選挙区候補として過去最高の得票を獲得した池内さおり前衆院議員があいさつしました。

続いて、私ガミニ区政報告をおこなった後、会場から意見を求める「質問コーナー」に。「次の国政選挙で

東京12区はどんな政治構図になるのか」、「道理のない道路計画をストップさせる展望は」、「都営住宅になかなか当たらない。もつと増やしてほしい」、「韓国と北朝鮮が分断国家になったのはどうして」など、質問や要望が寄せられ、弁士の3人がそれぞれ回答しました。



会場からも、国政、都政、区政について活発な質問が寄せられました

第2部は、お茶とケーキをいただきながら、和やかに懇談。私も、そねさん、池内さんとともに各テーブルをまわって、ごあいさつしました。

最後に、木元良八元区議のギター、ピアノ伴奏で全員合唱。新しい政治を切り開く決意に満ちた集いとなりました。(のの山けん)

日本軍「慰安婦」
問題の解決へ

日本の加害責任に向き合う努力を



「慰安婦」問題の解決を求める水曜デモ



天安市にある独立記念館

2015年の日韓「合意」をめぐる日韓関係の行き違いを解決するカギは、日本の植民地支配責任に正面から向き合うことです。5日から7日まで韓国を訪れ、日本による加害の歴史や、若者たちの声に学ぶことができました。(のの山けん)